

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農産物安全課
 担当名：有機・安全生産担当
 内線：4057

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業							
B15	埼玉スマートGAP推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費							
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし				戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化						
							分野施策	010404	食の安全・安心の確保						
<p>1 事業の概要</p> <p>県産農産物の安全に対する信頼性の向上を図るため、県独自のGAP(S-GAP)の仕様を策定し、担い手の拡大を推進する。</p> <p>事務費の節減による減額</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) GAP推進事業</td> <td>378千円</td> </tr> <tr> <td>(2) S-GAP策定事業</td> <td>113千円</td> </tr> <tr> <td>(3) S-GAP推進戦略</td> <td>107千円</td> </tr> </table>				(1) GAP推進事業	378千円	(2) S-GAP策定事業	113千円	(3) S-GAP推進戦略	107千円	<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア GAP普及事業 4,002千円 GAP普及のため、指導者を養成し、生産者への普及推進を図る。</p> <p>イ S-GAP策定事業 1,568千円 S-GAPの仕様の検討及び改訂を行う。</p> <p>ウ S-GAP推進戦略 4,155千円 (ア) S-GAPを全県に普及するために、周知の徹底及び農家支援を図る。 (イ) S-GAP認証準備</p> <p>(2) 事業計画 GAPの普及、S-GAPの仕様検討及び改訂、S-GAPの全県的取組 【目標】平成28年度までに4,000戸の農家がS-GAPに取り組む。</p> <p>(3) 事業効果 GAP普及率が上昇することにより、県産農産物の安全性が向上する。 県産農産物のイメージ向上が消費者へのPRとなり、生産者がGAPに取り組むメリットとなる。</p> <p>(4) 補正予算の概要</p> <p>(1) GAP推進事業：事務費の節減による需用費の減額。 (2) S-GAP策定事業：事務費の節減による旅費の減額。 (3) GAP推進戦略：事務費の節減による役務費の減額。</p>					
(1) GAP推進事業	378千円														
(2) S-GAP策定事業	113千円														
(3) S-GAP推進戦略	107千円														
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>															
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>															
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円</p>															
				財 源 内 訳											
予算額								一般財源	補正後の 予算額						
決定額	598							598	8,127						
現計額	8,725							8,725							